

登録医 ご紹介

医療法人 厚仁会 城北クリニック

《当院の治療の3つの柱》

- 1. 高血流量
- 2. 十分な透析時間
- 3. 効率の高いダイライザーで十分な膜面積



当院は高血流、長時間透析による高効率透析に取り組んでおり透析治療には非常に自信をもっております。透析治療のご相談はお気軽にお問い合わせ下さい。



院長 中村 中

《診療案内》

診療科目	透析内科
診療時間	月～土曜日 9:00～23:00
入院病床	10床
透析ベッド数	40床

名古屋市北区黒川本通5丁目26-1  
tel. 052-915-3731  
fax. 052-912-6221



城北クリニック 検索

※「登録医 ご紹介」への掲載希望がございましたら地域医療連携センターまでご連絡ください。

名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター  
地域医療連携 NEWS

《基本理念》  
地域に根差した大学病院として、高度かつ安心な医療を提供するとともに優れた医療人を育成します。



2022 2月号

◆目次◆

- 【総合内科特集】.....1
- 医師ご紹介.....1
- 診療のご案内.....2・3
- 【登録医ご紹介】.....4
- 医療法人厚仁会 城北クリニック.....4
- 【AI歩行器導入のご案内】.....4

患者さんと職員笑顔がみられる病院



【総合内科 特集】  
～内科全般の初期診療～  
『アンメットメディカルニーズ』  
Unmet Medical Needs : UMN

《 総合内科部長・教授 》  
菊地 基雄

- 日本内科学会 総合内科専門医・指導医
- 日本老年医学会 老年病専門医・指導医・代議員
- 日本老年医学会 老年病専門医研修会修了
- 日本老年医学会 高齢者栄養療法認定医
- 日本がん治療認定医機構 認定医
- 日本血液学会 血液専門医・指導医
- 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医・指導医
- 日本がん予防学会 認定がん予防エキスパート
- 日本専門医機構 総合診療領域特任指導医
- 日本病院総合診療医学会 認定医・指導医
- Fellow of the American College of Physicians
- 臨床研修指導医
- 日本医師会 認定産業医
- ACLS-EP プロバイダ
- ICLS ディレクタ
- JMECC インストラクタ
- 緩和ケア研修会修了
- ISLS ファシリテーター



大原 弘隆 病院長  
(専門分野：総合内科)

名市大ブックス 10  
地域に根ざし、寄り添う医療  
西部医療センターの挑戦

がん診療連携拠点病院であり、周産期センターを持つ西部医療センターの挑戦

0-99 売り上げランキング 1位!

【第10巻】地域に根ざし寄り添う医療～西部医療センターの挑戦～

順	著者	タイトル
1	豊田 剛成 神経内科学 西部医療センター教授	よくある頭痛と怖い頭痛
2	今枝憲郎 消化器・代謝内科学 西部医療センター教授	甲状腺が悪いといわれたら
3	伊藤 康彦 小児医学 西部医療センター教授	鼻血がよく出る、青あざが多い～この子は怖い病気でしょうか?
4	三井 章 消化器外科 西部医療センター教授	がんです、手術が必要ですよといわれたら～自分でできる手術前準備
5	奥山 敬 精神・認知・行動医学 西部医療センター教授	がんを患っても穏やかな日々を過ごすために～緩和ケアのすすめ
6	秋田 憲志 呼吸器・免疫アレルギー内科学 西部医療センター教授	がんの集学的治療～進化を遂げた非小細胞肺癌の治療から
7	狹野 浩幸 放射線医学 西部医療センター教授	体に優しいがんの陽子線治療
8	内木 綾 実験病理学 准教授	脂肪肝は怖い?～肝炎や肝がんの発症を予防する
9	中村 誠 蒲郡市民病院 病院長	肺がんの診断法
10	正木 彩子 臨床病理学 准教授	病理診断～ひとりひとりにあった治療のみちしるべ
11	梅本 幸裕 泌尿器科学 西部医療センター教授	男性不妊症ってどんなこと?
12	西川 尚美 西部医療センター 周産期医療センター長	まさか私が帝王切開!?
13	上島 通浩 環境労働衛生学 教授	安心して暮らせる環境を実現する医学～「働き手」は社会を通して私たちの未来を守ります
14	笹野 信子 麻酔科学・集中治療学 西部医療センター教授	被災しても生きぬくために～レジリエントな自分と社会を目指して

「歩行トレーニングロボット」導入しました!

いつまでも自分の足で元気に歩きたい  
そんな想いをサポートします!



副院長 脊椎センター長  
稲田 充

患者さんの歩行状況をAIが自動解析し、一人ひとりに最適な運動負荷を提案させていただきます。

リハビリテーション科



Walk training robo KY-WTR502S



名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター  
〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1  
TEL: 052-991-8121 (代表)  
FAX: 052-856-0049 (地域医療連携センター)

<https://www.west-medical-center.med.nagoya-cu.ac.jp>



西部医療センター地域医療連携 NEWS 2022年2月号発行  
地域医療連携センター編集担当 小谷純子

# 『アンメットメディカルニーズ』

Unmet Medical Needs : UMN

◆単一臓器に該当しない疾病(複合的な症候群)の診療

◆異常な生体反応の総合内科的な診療

発熱、全身倦怠感、眩暈、ふらつき、体重減少

浮腫、動悸、息苦しさ、非特異的疼痛

(頭痛・胸痛など)等の全身的医療



◆各診療科との連携治療

原因は一体なに〜…!?

※クリニック等を受診され原因がわからない場合、ご紹介を受け、更なる検査や診療を行っています。お気軽にご紹介ください。

※特殊な病態が疑われる場合は、**火曜日午後のWEB連携診療枠**をご利用ください。

※診断がついて症状が安定した患者さんは、地域の医療機関に逆紹介をお願いしています。

## 《主な診療実績》

	2019年度件数	2020年度件数
年間総診療症例数(内科救急含む)	6,574	5,343(コロナにより受診患者減少)
(新規)入院患者数	162	115
不明熱	58	42
不明熱のうち、家族性地中海熱	6	15
原発不明がん	6	11

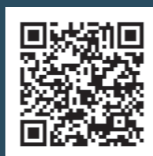
◇診療のお申込み・お問い合わせ◇

地域医療連携センター

TEL 052-991-8145

FAX 052-856-0049

「診療申込書」の  
ダウンロード →



# 当院では、希少疾患の診断に

## 取り組んでいます。

### ●不明熱●

通常の検査で原因が確定できない状態。遺伝カウンセリングや遺伝子検査が診断に必要な家族性地中海熱やTNF受容体関連熱症候群の診断を行っています。

### ●不明痛●

通常の検査で疼痛の原因が確定できない状態。RS3PE症候群や再発性多発軟骨炎などを含め原因検索します。

### ●ふらつき●

Gravicorderを使用してふらつきの原因検索を行っています。

### ●原発不明がん●

血液検査で腫瘍マーカーのみ上昇している状態や転移巣が先に見つかり原発巣が不明な場合など診断対応します。

### ●疾患に応じた栄養相談●

高齢者栄養療法認定医が、当院の栄養科の相談窓口となっています。お気軽にお申し込みください。



## 《講習会のご案内》 ※学会単位認定あり

●日本化学療法学会認定抗菌薬適正使用講習会(年1回)

●日本救急医学医認定救急講習会: JMECC(年2回)

※受講のお問い合わせ・お申し込みは、西部医療センター総合内科まで

## 《研究参加のご案内》 ※100名募集!

●テーマ

「飲酒と生活習慣病に関する介入研究」

※詳細は別紙をご参照ください。

### ◆論文発表実績◆

1. Journal of Hospital General Medicine 2021年12月

Key diagnostic characteristics of fever of unknown origin in Japanese patients: a prospective multicentre study. 『西部医療センターの救急外来に来院した患者の重症度とその予後因子に関する研究の結果』

2. BMJ Open 2019年11月

Key diagnostic characteristics of fever of unknown origin in Japanese patients: a prospective multicentre study. 『西部医療センターが参加した、不明熱の現状に関する多施設共同研究の結果』

# 西部医療センター **小児科(腎・泌尿器分野)**のご案内



小児科副部長  
山田 拓司

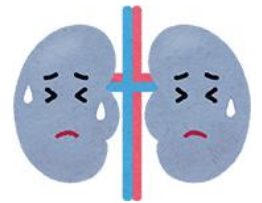
日本小児科学会 小児科専門医  
日本腎臓学会 腎臓専門医 指導医  
日本小児腎臓病学会 評議員  
臨床研修指導医

【一般外来】 火曜日午前

【腎臓外来】 月曜日午後

※紹介のご予約はどちらでも OK!

お子さんの「成長や発達を最優先」し、  
「少しでも負担や制限のないような医療」を  
心がけています!



## 早期発見!

学校検尿で  
**血尿**  
**たんぱく尿**



## 早期治療!

腎臓は沈黙の臓器…  
症状がなくても  
**腎臓専門医に**  
ご紹介ください!

学校検尿から腎炎、ネフローゼ症候群、尿路感染、  
腎不全など幅広く診療しています。

《特殊検査》

排尿時膀胱尿道造影検査、腎生検(開放、経皮下)、  
核医学検査、血漿交換、急性血液浄化など



◆診療のお申込み・お問い合わせ◆

地域医療連携センター

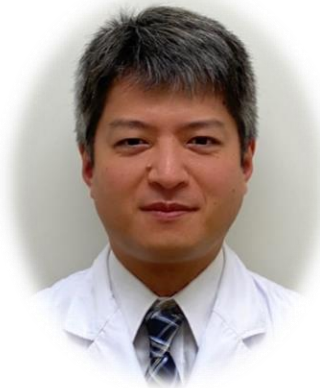
TEL 052-991-8145

FAX 052-856-0049

「診療申込書」の  
ダウンロード →



# 西部医療センター 小児泌尿器科 ご案内



名古屋市立大学  
小児泌尿器科学分野  
医局長・助教  
西尾 英紀

## 【専門分野】

小児泌尿器科  
停留精巣手術、水腎症手術、  
膀胱尿管逆流防止術

## 【小児泌尿器科外来】

月曜日午前

治療を受けたお子様、ご両親が安心できるよう、  
小児期の医療だけでなく、将来にわたって  
腎機能・生殖機能・排尿機能・性機能を守る  
成育医療を心がけています。



小児泌尿器科では、小児科、小児外科、泌尿器科、麻酔科、  
放射線科などの関連部署と名古屋市立大学病院が密に連携し  
治療を行っています。

また、停留精巣や尿道下裂の  
手術を受けたお子様が父親に  
なれるように

**「泌尿器科不妊チーム」**  
がサポートしています。



泌尿器科副部長  
濱川 隆



泌尿器科部長  
教授  
梅本 幸裕



泌尿器科医師  
磯谷 正彦

## 【診療疾患】

水腎症、膀胱尿管逆流、異所性尿管、尿管瘤、後部尿道弁、  
停留精巣、尿道下裂、病的包茎、先天性副腎過形成、性分化疾患、  
神経因性膀胱(二分脊椎など)、昼間尿失禁、夜尿症などの  
排尿異常 など

## ◆診療のお申込み・お問い合わせ◆

地域医療連携センター

TEL 052-991-8145

FAX 052-856-0049

「診療申込書」の  
ダウンロード →



# 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 歯科口腔外科 NEWS 2022. 2

みなさま、こんにちは。

年末年始に治まりかけていた新型コロナウイルス感染症が、オミクロン株の出現により、我が国でも1月中旬頃より第6波として再び猛威を振るっています。愛知県にも1月21日にまん延防止等重点措置が適応されました。今年こそは、コロナ禍が終息することを願っていますが、すぐには難しそうです。もうしばらくの間「with コロナ」の時代が続くことを想定して、歯科治療施設の診察形態をさらに変容していく必要があるかもしれないと感じています。



一方、このような状況にもかかわらず、先生方から多数のご紹介をいただき誠にありがとうございます。

今後も適切な感染予防対策を施しながら、先生方のご期待に応えることができるよう努めたいと思っています。

本年も、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



部長・教授 深野 英夫



大久保 智史

鍋田 剛志

講師  
宮本 大模



副部長  
渡邊 裕之



部長・准教授 土持 師

飲酒習慣と生活習慣病との関連に興味のある方へ

# ～研究参加者募集～

(共同研究者・モニター)

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター総合内科では、**「アルコール飲料の飲用に関する情報介入研究」**に取り組んでおり研究にご参加いただける先生方を募集しています。

※研究にご参加されなくても、この機会に「モニターとして患者さんを紹介したい」というケースも受付けております。是非、ご紹介ください。

【課題名】 「アルコール飲料の飲用に関する情報介入研究」

【研究対象期間】 2021年12月1日～2023年12月31日

(登録期間：2022年4月30日まで)

【研究の内容】 (対象者：約100名)

- ◆地域住民の方を対象とし、アルコール性飲料（ビール、ワイン、ウイスキー、日本酒、焼酎など）の摂取状況を把握します。
- ◆アルコール性飲料を飲む習慣のある方で希望者を対象とし、アルコール性飲料の長所、欠点について講習を受けていただき、その後の1年6か月にわたって、飲酒に関する生活習慣の変化をモニターします。  
(アルコールの禁酒を意図するものではありません)

◆調査項目

- ・患者背景（性別、年齢、合併症、既往歴）
- ・臨床所見（既往歴、自覚症状）
- ・1日アルコール摂取量、呼気中アルコール濃度

※調査内容は個人を特定する情報（お名前、ID、住所等）を含むものではありません。

調査時に新たな番号を付番し、その番号を用いて調査票が作成されるため、個人情報外部に漏れることはありません。

※研究結果は学術雑誌上で行います。（論文発表実績：裏面参照）

※研究にあたり、勉強会・説明会等のご希望があれば承ります。



この研究にご興味がある方、詳細についてお知りになりたい方、研究にご参加いただける先生、下記までご連絡ください。

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター  
総合内科 菊地 基雄

TEL 052-991-8121(病院代表)

E-mail: m.chrysanterrest@gmail.com

# 習慣的に飲酒されている方へ

飲酒と**病気**の関連についてお知りになりたい方・ご心配な方、  
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター主催の  
「アルコール飲料の飲用に関する情報介入」  
**研究に参加してみませんか？**

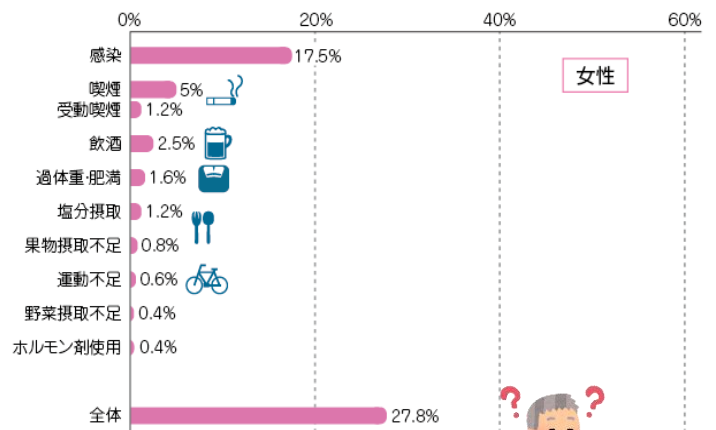
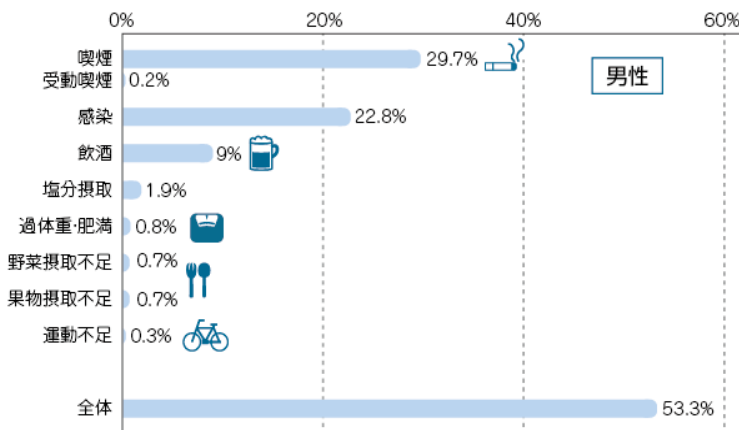


- ※研究に参加することにより、飲酒と病気の関連について詳しく知ることができます。
- ※講習を受けて頂き、その後の1年6か月、飲酒に関する生活習慣の変化を確認させていただきます。
- ※参加費用は一切かかりません。
- (研究以外に医療が必要となった場合には、総合内科ほか該当診療科を受診していただきます。)
- ※個人情報厳重に守秘しますのでご安心ください。

本研究は禁酒を意図とするものではありませんが、お酒は、がん、認知症、骨折、動脈硬化、糖尿病の危険因子であることが知られており、不適切で習慣的なアルコール摂取は多臓器に悪影響を及ぼします。(厚生労働省 e-ヘルスネットより)

## お酒とがん

日本人におけるがんの要因 男女とも上位！ <https://ganjoho.jp/public/>



## お酒と認知症

最近の調査で「飲酒量が増えるほど脳が萎縮する」ことが知られています。



## お酒と骨折

アルコールを過剰に摂取すると胃腸でカルシウムが吸収されにくくなるほか、尿と一緒にカルシウムが体外に排泄される結果、骨折しやすくなります。



## お酒と動脈硬化

過度の飲酒で、高血圧、心筋梗塞、心不全、不整脈、脳卒中に罹りやすくなります。



## お酒と糖尿病

不適切な飲酒量では、肝臓や、すい臓に影響して、血糖値を上昇させる可能性があります。

詳しくは、共同研究医療機関の先生方、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター総合内科教授 菊地基雄(診療担当日:月曜、金曜)にご相談ください。

**西部医療センター TEL:052-991-8121**